

同窓会初めての海外旅行

上海・蘇州・湖州・杭州の旅

中国に初代会長桑村さんを訪ねて

2004年11月9日～14日

その3：旅行記・第3日 2004年11月11日

拙政園、湖州健民龍鳳食品有限公司

中国湖筆博物館、飛英塔、カラオケ



千葉県市川市立第二中同窓会・有志

4.3 第3日 2004年11月11日

午前：拙政園、湖州健民龍鳳食品有限会社

昼食：湖州健民龍鳳食品有限会社の食堂

午後：湖州健民龍鳳食品有限会社工場見学、毛筆博物館、飛英塔

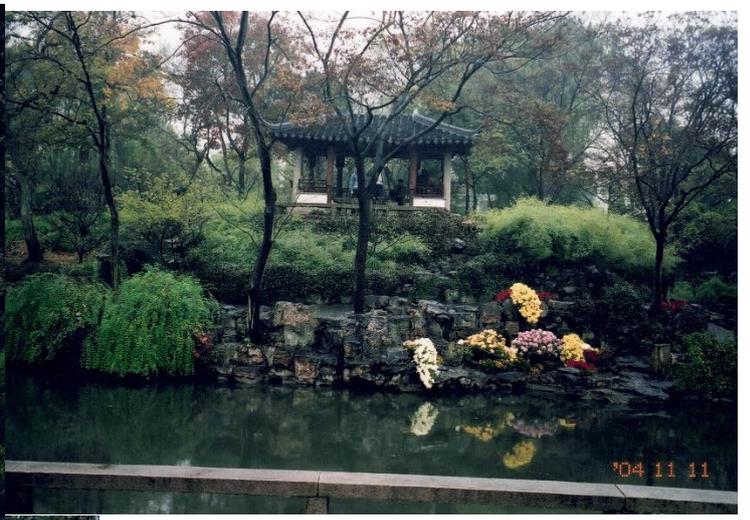
夕食と宿泊：国際大酒店

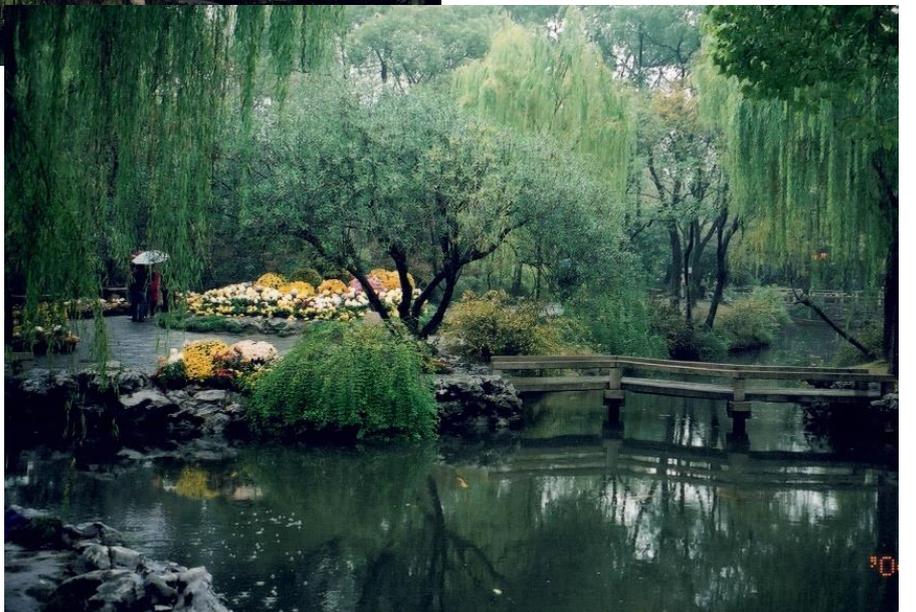
(1) 拙政園

中国の四大名園の一つで、中国が最初に指定した全国重点保護文化財の一つであり、1998年に世界文化遺産に登録された。拙政園は明の正徳四年(1509年)に建造され、その土地の事情に適するように配置され、池を中心とし、園内の建築物はまばら分布し、格調が古めかしく、素朴かつ自然であり、池が広く、樹林が生い茂り、広く、明るいという明代の規範が保たれており、都市を出なくても林野の逸趣を楽しむことが出来る

全園は東、中、西の三つの部分と一部の住宅を含み、各風景区の配置はそれぞれ特徴がある。







(2) 湖州健民龍鳳食品有限公司 (11月11日訪問)

11月11日、桑村益夫さんが勤務していた「湖州健民龍鳳食品有限公司」を訪問した。同社の業務内容その他紹介については、「4. 桑村さんの思い出」に記載したのでそちらをご覧ください。ここでは当日の食事風景等をご紹介します。

*訪問団の皆さん：前列右から3人目が桑村益夫さん

後列右の黒衣装の女性は添乗員の周さん



*湖州健民龍鳳食品有限公司の工場外観



桑村社長のお話を聞いた後、食堂で製品である冷凍食品の「米粉」などをご馳走になった。大変美味しかった。

会社紹介する桑村社長

食事風景



《南太湖の真珠—湖州》 (湖州についての桑村さんの紹介文)

湖州は浙江省の北部に位置し、上海の西隣、南は杭州に接し、北は太湖を臨む江南地域の要です。徳清、長興、安吉の三県と呉興、南潯の両区があり、総面積は5,817平方キロ、人口256万人で、東部は水郷地帯、西部は丘陵山岳地帯となっており、「五山一水四分田」と称されています。

湖州は長江三角地帯の重要な対外開放都市で、国務院により上海浦東を始めとする15の優先的開発地域の一つに指定されています。1980年代に経済改革、対外開放政策が採られて以来、上海と共に急速な発展を遂げています。

湖州は古くから、「生糸の里、魚米の郷、文化の国」と讃えられ、2千3百年の歴史を持ち、世界的な生糸文明発祥の地の一つで、「文房四宝」として有名な「湖筆」の故郷でもあります。山と水に恵まれた風光明媚な所で、「陸羽」が「茶経」を書いた土地でもあり、著名な画家等多くの文化人を輩出しています。

湖州市の経済は工業の発展を重視し、絹織物、建材の両伝統産業を基礎に、近代的紡績、新型建材、ファインケミカル、医薬の四大重点産業を発展させ、その内ファインケミカルは全国44箇所の重点生産基地の一つとなっています。

穀物、油糧作物、養蚕、淡水魚、孟宗竹の産地として全国的に知られ、穀物・油糧作物78万トン、小麦粉11万トン、加工食品15万トンを産出し、2003年の生産額は29億元(406億円)に達し、孟宗竹は全国に1割を産出しています。

気候は亜熱帯性で、四季の別がはっきりと感じられます。

湖州は文化的水準も比較的高く、環境、治安も良好で、「国家衛生都市」、「中国優秀観光都市」等に指定されています。

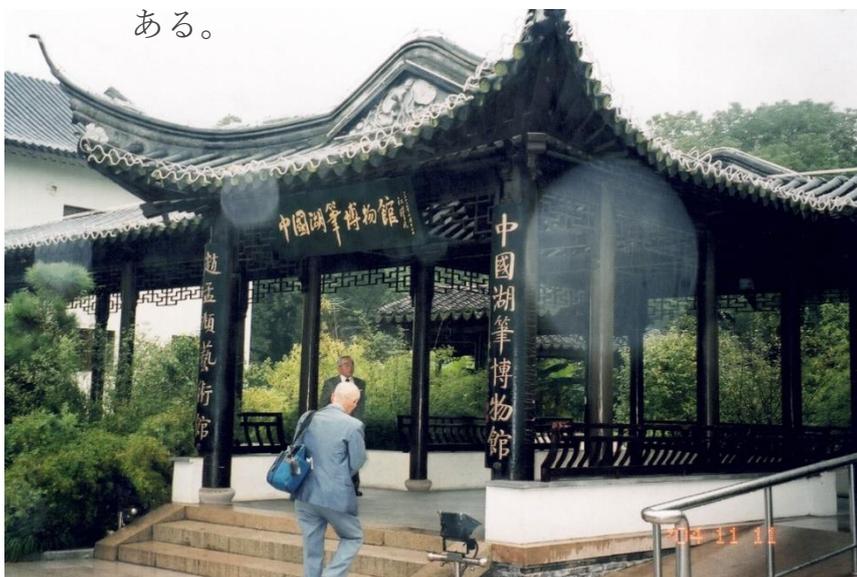
交通面では上海との高速道路の完成が遅れており、2006年開通の予定ですが、杭州—蘇州、杭州—上海、杭州—南京(一部未開通)等の高速道路を利用し周辺各都市に移動する事ができます。

湖州市は今、「太湖の時代」に向けて、全市を挙げて都市空間を整備し、経済基盤の強化し、勢いのある文化的都市として、太湖周辺の近代的都市に成長しようとしています。

(五州伝播出版社の「湖州」を一部抄訳及び補足。2004年11月)

(3) 中国湖筆博物館

湖州市で生産される筆は湖筆と呼ばれ、その極めて優良な品質は古くからで国内外に知られ、良質な毛筆の代名詞となっている。2001年には、中国湖筆博物館が開館し、古代からの筆を展示、書道と筆の歴史と文化について学べるほか、実際に筆を作る過程も見学できる。伝統的な湖筆の製作は非常に複雑で、浸皮、採毛、選毛、結び、装筆など、120以上の工程を経て完成する。熟練の職人が作る湖筆には「尖、斉、円、健」の四徳が揃うと言う。(尖)は、筆先が鋭く尖り、細くなった部分の毛が長く多いこと、(斉)は毛の先端が切ったように一直線で、毛並みが揃っていること、(円)は全体が丸みを帯び、筆腹が良く曲がり、毛割れが生じないこと、(健)は、穂に弾力があり、しなやかにも力強くも書け、長持ちすることである。



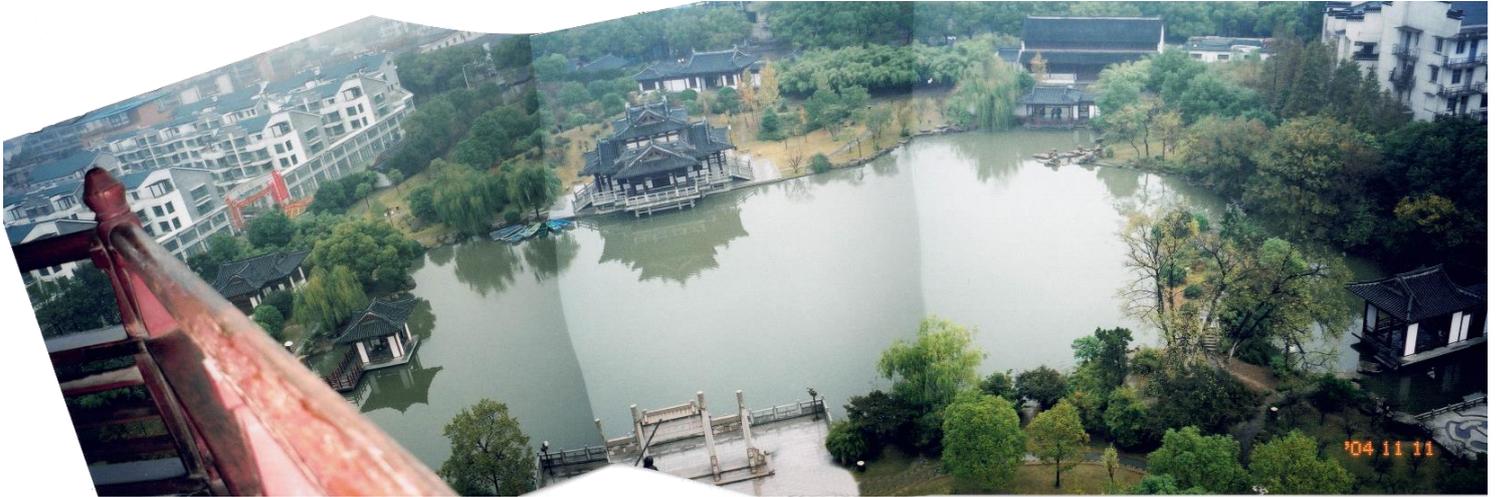
入口にある大筆



(4) 飛英塔 (塔中塔)

飛英塔は、石の内塔とレンガ木混合の外塔からなる。寺は失われて無い。塔からの眺望は素晴らしい。前面に池と東屋、記念堂が建つ。

下の画像は飛英塔からの眺め



外塔；南宋の煉瓦木構造の八角七層、高さ55mの塔。2009年には、六層まで登れた

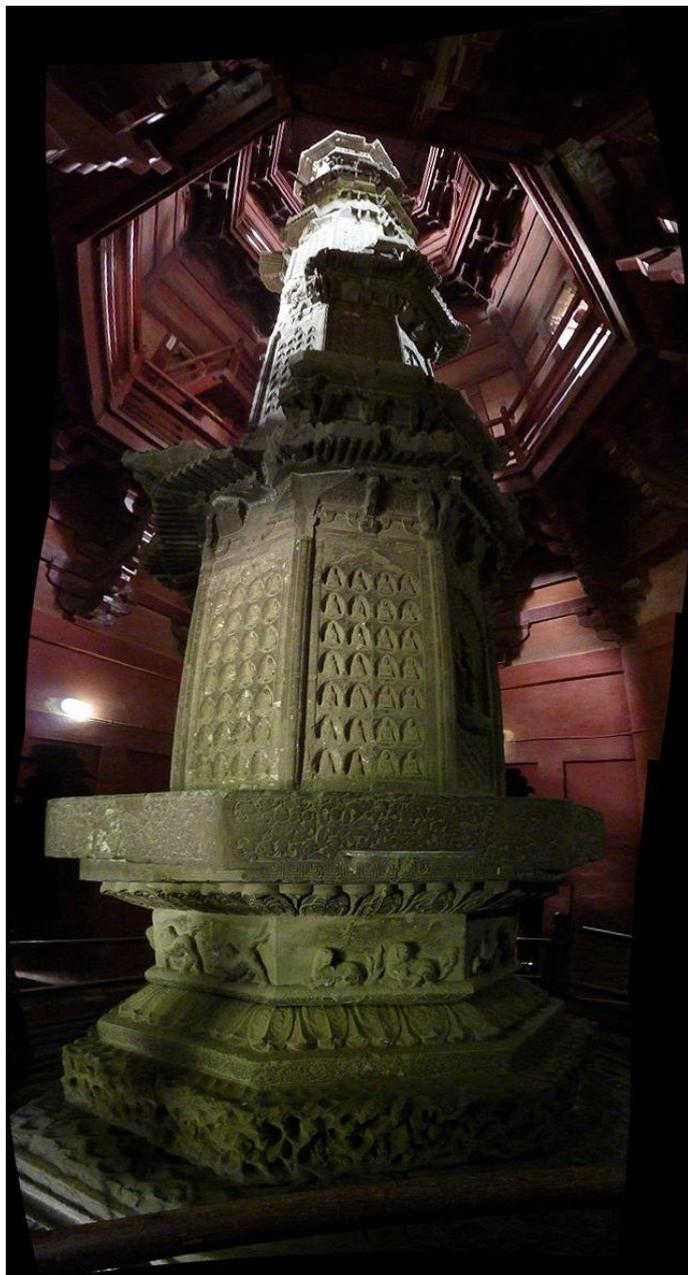


内塔；唐代 884 年に建立されたが、崩落したが、南宋の 12 世紀に再建された。擬木造の楼阁式八面五層、塔櫓を欠くが、高さ 15m ある。内塔は、各層仏・観音・千仏・獅子・忍冬唐草などの精彩な彫刻がびっしり施された唐代彫刻の塊り。特に第四層北面の観音像が有名。斗拱は、偷心造と言って、下層の横肘木を省略する唐代の形式をとる。

内筒を上から見た画像



内筒



内筒側面の彫刻



飛英塔からの
市街地の風景



(5) 宿泊 2004.11.11 国際大酒店・・・桑村さんの常宿
まずは夕食：国際大酒店で美味しい食事を頂きました。

大型の上海蟹をおひとり様
雄雌各一杯ずつ
そして、さらに淡水魚料理
至れり尽くせりの夕食でした。



②食後は皆さん大好きなカラオケで美声を披露



皆さん
お上手でした

